

# 部署紹介

## 大学図書館 狭山図書館



### ○業務について

大学図書館は板橋図書館・狭山図書館の両館で1つの図書館を運営しています。蔵書は約 48 万冊(2019 年 2 月現在)あります。図書館での業務というと、カウンターでの貸出・返却が主な仕事と思われるがちですが、大変多岐にわたります。「資料管理」、「研究支援」、「利用支援」の順にご紹介していきます。

まずは、図書館の根幹である「資料管理」。

利用者への図書・雑誌の提供はもちろん、電子ジャーナル、電子ブック、データベースなどについても提供・管理を行っています。また、東京家政大学図書館特殊コレクションのアーカイブ等の整備も行っています。

「研究支援」では、東京家政大学機関リポジトリによって、本学所属教員による研究成果の発信・提供を行っています。機関リポジトリでは教育・研究支援課が管理する東京家政大学研究者情報データベースとも連携し、情報提供を行っています。

最後に「利用者支援」についてご紹介します。

近年、特に増えているのが、学術情報リテラシー教育支援の業務です。

教員からの依頼を受け、図書館職員が授業時間で説明を行います。学生が学術情報を利用する際に必要な知識や方法を、アクティブラーニングの手法を積極的に取り入れながら実施します。

図書館職員が作成した、「東京家政大学生のための情報リテラシーテキスト」を教材として使用しています。テキストは常に最新の情報が提供できるよう、毎年改訂を繰り返し、作成をしています。

授業時間での説明以外に、キャリア支援課と連携し、就活セミナーで大学図書館が管理するデータベースを使用した企業情報の説明も行っています。この学術情報リテラシー教育支援は、図書館職員の情報収集・提供能力のほか、プレゼンテーション能力も必要とされる業務です。

また、学生さんとの協働活動として、図書館学生ボランティア団体 Library Mates の活動を支援しています。Library Mates は図書館キャラクターの考案、しおり・ビニール袋の図書館グッズの作成、選書ツアーなど活発な活動を行っています。

施設面においては利用者の学習に合わせた整備を進めています。「学びへの<sup>いざな</sup>誘い」をテーマとしたラーニングcommonsでは、アクティブラーニングなどの多様な学習形態に対応しています。また、ここでは、連続講座などのイベントを学修・教育開発センターとの共同運営によるラーニングcommons運営委員会が開催しており、新たな知の発見に結びつけています。

以上のように、大学図書館は従来の静かな図書館のイメージとは違う、アクティブな活動に取り組んでいます。

### ○応募者へのアドバイス

ご紹介したとおり、大学図書館は学術情報の提供・整備だけが業務ではなく、利用者(学生・教職員)と接する機会が非常に多くあります。

「本が好き」もちろんですが、「人が好き」な方にぜひ活躍していただきたい部署です。

柔軟な発想・感覚で、一緒に図書館業務の提案・企画・運営ができる方をお待ちしています。

ぜひ一緒に大学図書館を、そして東京家政大学を盛り上げていきましょう！